



インタビュー場所：由比ヶ浜 Gent

んか？と、お話しします。半分以上の方は試してみても、経験では8割ほどは何も反応が出ません。

「わんのはな」で扱っているフードやジャーキーは無添加なので、食べてみませんか？とおすすめてみると、こちらにも反応が出ないということが多いです。

花粉症を例とすると、昔から杉やヒノキの花粉は飛んでいました。今よりもっと飛んでいたのに、花粉症はなかった。いろんな学説の中に花粉自体のアレルギーではなくて、花粉と排気ガスが結合して花粉症のアレルゲンになっているという学説が有力と考えて

います。

わんちゃんも鶏肉とかトマトの単品ではなくて、鶏肉とそのドッグフードに含まれている、合成添加物などが結合してアレルゲンとなりアレルギーを発症していると考えています。もちろん食材自体に反応する子もいるので100%とは言いませんが。

**ドッグフードのレベルって？**

**原料って？**

えつこ ドッグフードは、人間の食事に比べるとレベルが低いですが？

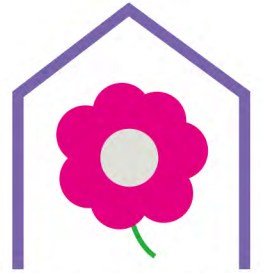
**戸松** 平成21年にやっと、ペットフード安全法ができました。それまでは法律すらありませんでした。

人間が食べていいものは法律で守られていて、使っている防腐剤や着色料などが定められています。でもペットフードには全成分表示義務すらなかったのです。

昔米国でスタートしたペットフード製造では、袋に書いてある、たとえばコーンはコーン油を搾った絞りかすがそのコーンであったり、牛肉と書いてあるものは人間が食べる部位を取り除いた部位の産業廃棄物だったりしました。それらを混ぜ合わせたものが、

## 第5回 わんのはな 戸松寛人さん

今やたいせつな家族の一員として愛されているペット。そのペットたちの食事については、あまり知る機会がないかもしれません。静岡で無添加オーガニックなペットフードの企画販売をされている戸松さんに、お話をうかがってみました。編集長の愛犬ルルちゃんも、はじめての副編集長として参加です。どうぞ、おたのしみください。



えつこの部屋  
すぴんおふ



**戸松さんとペットフードの出会い**

**戸松** はじまりは、一九九八年。愛犬パスタのアトピーでした。

ブリーダーさんからいただいたドッグフードを食べると、お腹をまっ赤にしてかゆがるんです。1〜2時間するとそれがおさまるということを繰り返し、調べるとドッグフードにいろいろな原料や化学合成添加物が入っていることがわかりました。

それからいろいろと試して、無添加のドッグフードにたどりついて、ようやく改善されました。

**わんちゃんのアレルギー**

えつこ 以前に飼っていたチワワがアレルギーで、なにを食べさせていいかわからなかったんです。

**戸松** ペットの健康については学説がどんどん出てきて、血液検査の信ぴょう性も疑問視されています。

例えばアレルギーの項目が20種類ある愛犬は、それらが入っていないフードはほとんどなく、オーナーから相談を受けます。

そんな時は一つの提案として、人間が食べる食材を少しカットして食べさせてみさせ